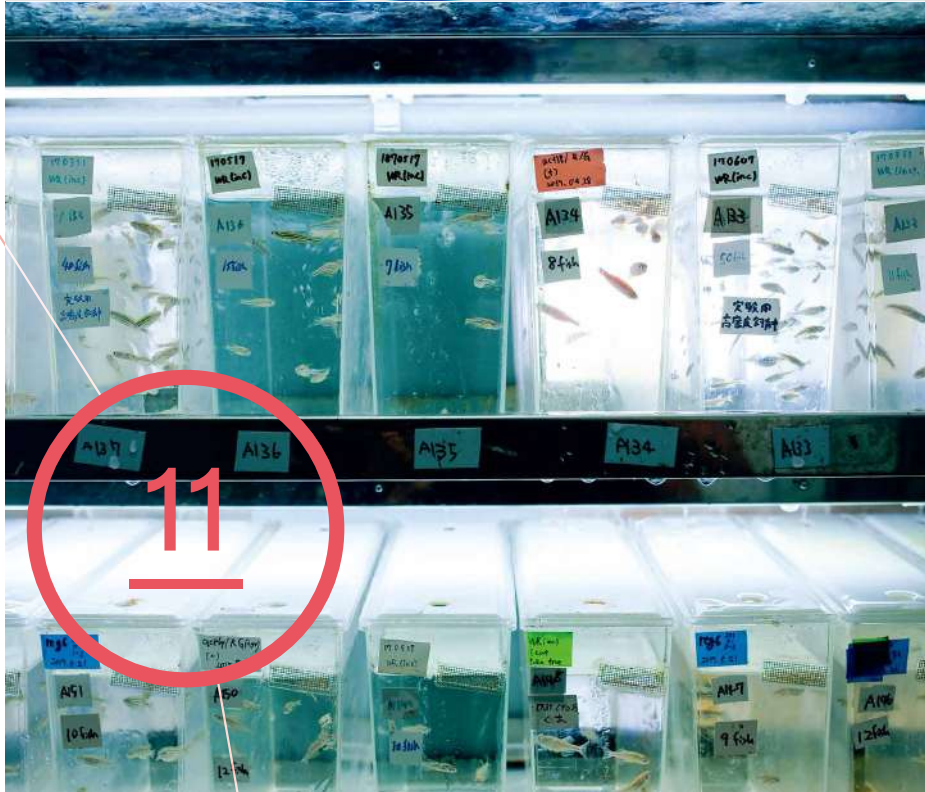
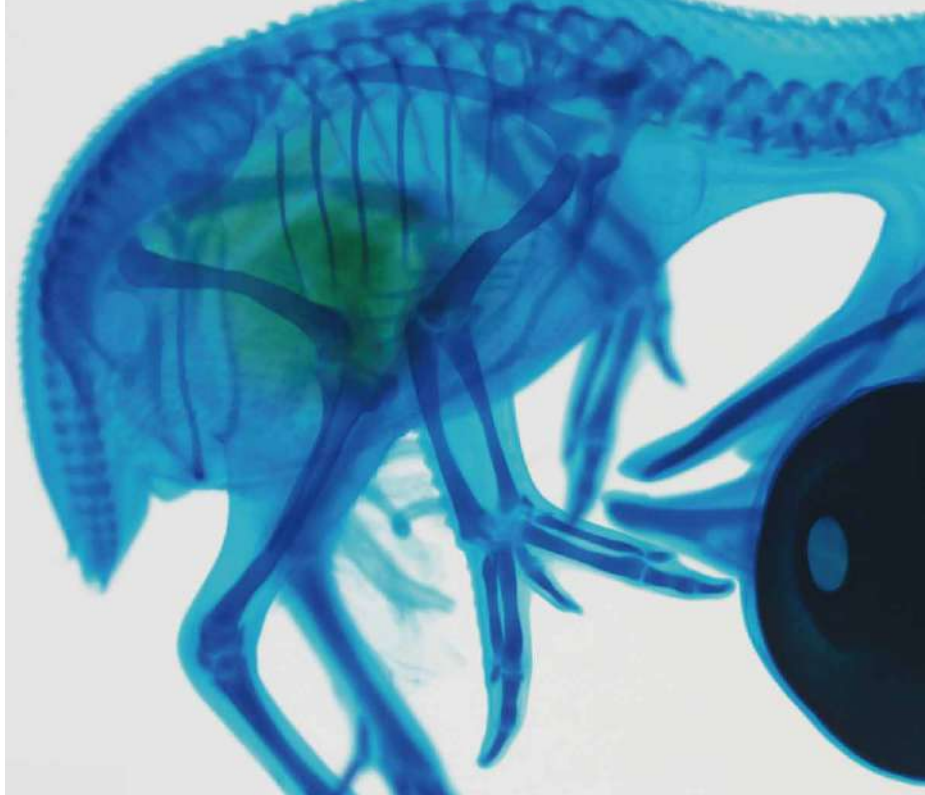




動物 発生分野

脊椎動物の付属肢を 題材とした動物の形づくりの メカニズムを読み解く

動物の体は、ひとつの受精卵から始まり、だんだんと細胞の数や種類が増え、そして形ができてきます。私たちはそのような動物の形づくりの仕組みを研究しています。とくに注目するのが脊椎動物の付属肢（四肢とヒレ）です。どうやって付属肢ができてくるのか、また、付属肢の形の多様性（動物ごとの違い）を生み出す仕組みや、一度失った付属肢を再生できる動物の再生能力が発揮される仕組みなど、さまざまな謎の解明に取り組んでいます。

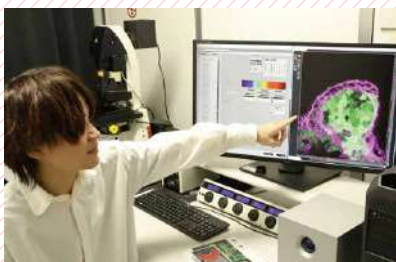


Lab. DATA

付属肢の発生・再生・多様性進化
田村宏治 教授
上坂将弘 助教
<http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/tamlab/>

在学生

Interview

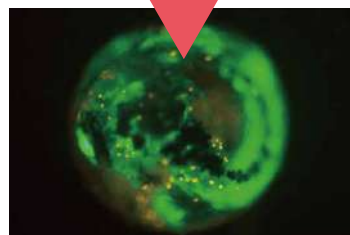


修士2年
岡山 舜

私は、魚のヒレから四足動物の持つ手足への進化を発生過程に着目して研究しています。ヒレにのみ見られる形作りを、発生中のヒレの構成要素である細胞の形や数の観点から解明しようとしています。「遺伝子」とそれに動かされる「細胞」、その集まりである「器官」の進化を総合的に理解することを目指します。



topics



私たちは遺伝情報から形態までを繋げた理解を目指しています。この目的のために、新規モデル生物であるレインボーフィッシュへのGFPの導入に世界で初めて成功しました。